

## 総工GPニュース 第24号

### 1) 地域連携フォーラム兼平成23年度総工GP成果報告講演会(土井准教授)

11月3日(木・祝)に本校図書館2階視聴覚大ホールにおいて「科学技術に目覚める子どもたちを育む地域連携フォーラム(午前)」および「ワークショップ(午後)」を開催しました。参加者は100名(一般来場者27名、本校学生65名、教職員8名)でした。イタリアのレオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学技術博物館のガッリ館長より「現代の科学技術に通じるレオナルド・ダ・ヴィンチの魅力」というタイトルで基調講演をいただきました。続いて大阪府立大学の橋爪紳也教授より、「寝屋川・大阪の魅力とそのブランド力」というタイトルでご講演をいただき、本校の教育実践報告として、「北河内における教育活動を通じた地域貢献」について東田教授から、「総合的な科学技術力を育成する実験実習」について土井准教授より報告しました。このフォーラム実施により、参加者の科学技術および文化に関する理解を国際的かつ地域的に深めることができました。また、午後にはレオナルド・ダ・ヴィンチのロボット兵士を段ボール教材で組み立てる工作教室を実施し23名の小中学生および高校生に学びの場を提供しました。また、裏面にアンケートをまとめ、本校の取組に対する意見や改善点などを頂きました。

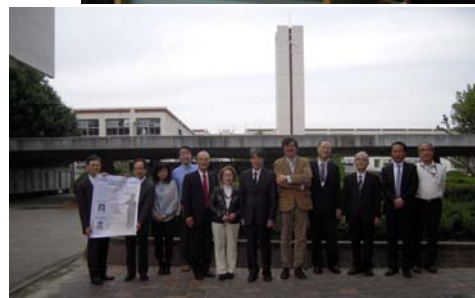


写真 ガッリ館長基調講演との記念撮影

### 2) 5年卒業製作展示会兼平成23年度総工GP成果公開展示会(土井准教授)

11月5日(土)午後から11月6日(日)終日において、本校文化祭のなかで卒業製作展示会を開催しました。今年も昨年に引き続き「持続可能な社会システムを指向したものづくり」をメインテーマに12プロジェクトが4月から企画・立案・製作した成果物を展示しました。6日の日曜日には、地元企業経営者の三原啓次郎様、柴田政明様、川原畑浩様および日本技術士会近畿支部から森川勝仁様、亀尾恭司様、外山榛一様の6名にお越し頂き、外部評価委員として展示物を評価していただきました。また、本校教職員、在校生、保護者・卒業生を含めた来場者からも評価を頂きました。なお、それら結果については次号の総工GPニュースにて、まとめて発表いたします。



写真 評価をうけるプロジェクト員

### 3) 4年機械系コース「ものづくりの現場をみる」工場見学(塚本准教授, 中谷准教授)

4年機械システムコース、システムデザインコース、メカトロニクスコースの工場見学については、堺方面と滋賀方面の2班に分かれて11月11日(金)に行いました。班分けについては、学生に予め選択希望調査をとり、その希望をなるべく反映するように行いました。なお、この工場見学は、電子機械工学実験の一環として、教育GPの支援を受け実施しました。



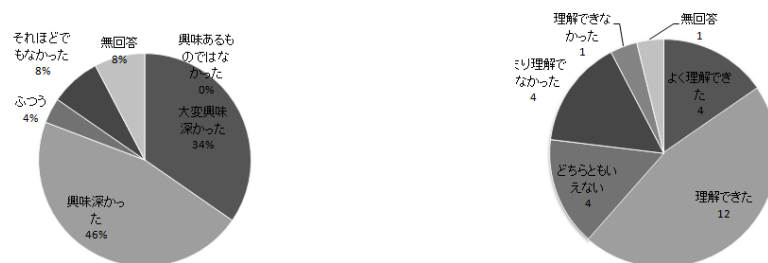
(1) 堺方面【大阪府堺市:ダイキン工業株式会社堺製作所、新日本製鐵株式会社堺製鐵所】(引率:難波、中馬、塚本)

写真 (株)ダイフクでの集合写真

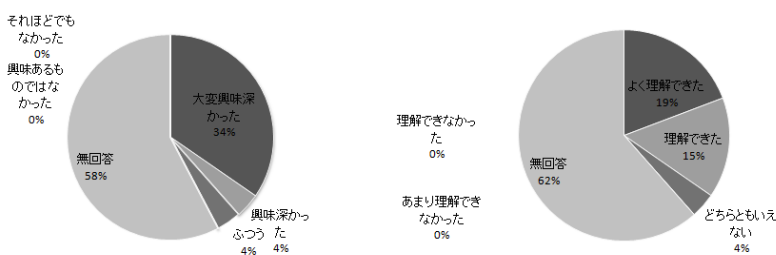
学生 44 名、引率教員 3 名が参加しました。貸し切りバスで午前 9 時に本校を出発し、10 時にダイキン工業株式会社堺製作所に到着し、その後工場を見学しました。午後には、新日本製鐵株式会社堺製鐵所を見学しました。学生は熱心に見学していました。集合時間等も厳守され、17 時 30 分に学校に到着しました。

(2) 滋賀方面【滋賀県：パナソニック株式会社 ホームアプライアンス社、株式会社ダイフク 日に新た館（ひにあらたかん）】(引率：金田、中谷) 学生 41 名、引率教員 2 名が参加しました。貸し切りバスで午前 9 時に本校を出発し予定通りの行程で実施されました。パナソニック株式会社 ホームアプライアンス社では、会社概要説明等の後、工場を見学しました。午後には、株式会社ダイフク 日に新た館を見学しました。多種多様なマテハン機器を学生は熱心に見学し、就職を視野に入れた質問も多くなされました。17 時 30 分に学校に到着しました。

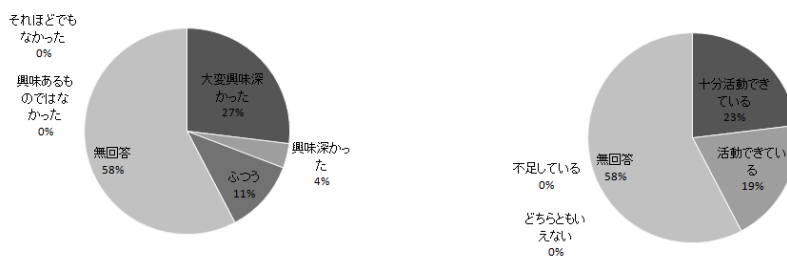
問①・問②【基調講演】「現代の科学技術に通じるレオナルド・ダ・ヴィンチの魅力」についてお聞きします



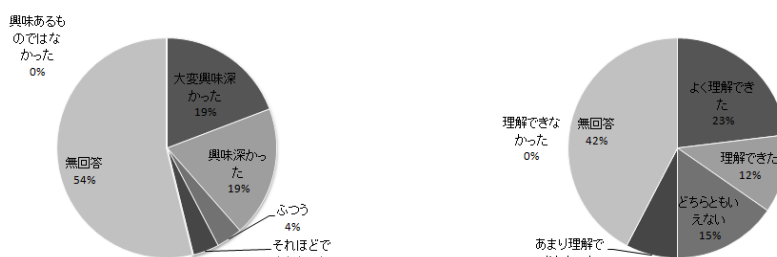
問③・問④【講演】「寝屋川・大阪の魅力とそのブランド力」についてお聞きします



問⑤・問⑥【教育実践】「北河内地区における教育活動を通じた地域貢献」についてお聞きします



問⑦・問⑧【教育実践】「総合的な科学技術力を育成する実験実習」についてお聞きします



アンケート結果

